電話受信状況　相談データ

【電話相談の状況】

1. 日本語電話相談年代別・男女別受信件数（図1，表1）

相談件数は21,256件で、昨年より253件（1.2%）減少した。女性（59%）の相談が多い傾向に変化はないが、男性(41%)が1%増加した。男女共40代が最多で、女性は50代、60代と続き、男性は30代、50代となる。女性は50代と10代が、男性は40代、70代以上、60代が増加した。

2. 日本語電話相談内容別受信件数（図2，表2）

精神・保健が最多で人生問題、家族問題と続く傾向に変化はなく、精神・保健と人生問題が増加している。

3. 日本語電話相談年代別受信件数と自殺傾向率（図3，表3）

自殺志向件数は2,581件（12.1%）で+449件（21.1%）と大きく増加に転じた。40代が最多だが、30代が増加した。自殺傾向率は9歳以下が最も高く、10代、30代、20代と続く。件数は少ないが、若年層（30代以下）の自殺率の高さが、顕著に現れている。

4. 日本語電話相談過去5年間の自殺傾向率（図4，表4）

2012年以降漸減傾向だったが、2015年度は一転して過去5年で最高となる上昇を示した。統計上の自殺者数減少とはうらはらに自殺傾向率は増加しており、潜在的自殺者（予備軍）の増加を示唆している。2011年は、東日本大震災による一時的低下と見られる。

5. 日本語フリーダイヤル（図5，表5）

毎月10日、フリーダイヤルで全国のセンターとオンラインでつなぎ、日本各地からの電話を受けている。通常電話より自殺傾向が高く、男性の相談件数が多い特徴が出ている。

6. 心理専門相談（図6）

内容的には精神・保健、家族問題、対人関係と続く傾向に変化は見られないが、精神・保健の比率が78%（前年82%）とやや減少した一方、家族問題・対人関係はやや増加した。

7. 法律専門相談（図7）

離婚問題、家族・扶養問題が主体である傾向に変化はないが、雇用・労働が相続・贈与を上回り、経済情勢を反映している。受信件数も93件（前年比238%）と大幅に増加した。

8. 外国語相談（図8，表6）

両言語ともに、人生問題、精神・保健に関わる相談が多い傾向に変化はないが、家族問題と対人関係が増加した。頻回通話者による無言電話が、前年同様多数を占めている。

日本語電話相談年代別・男女別受信件数

図 1

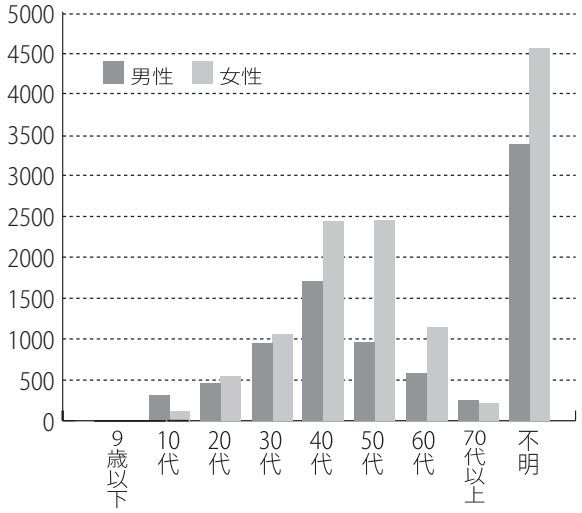


表 1

年代別	男		女		合計（件）	
9歳以下	6	(0)	3	(3)	9	(3)
10代	279	(310)	119	(115)	398	(425)
20代	481	(553)	580	(792)	1,061	(1,345)
30代	989	(945)	1,022	(1,141)	2,011	(2,090)
40代	1,740	(1,509)	2,484	(2,573)	4,224	(4,082)
50代	967	(923)	2,456	(2,448)	3,423	(3,371)
60代	519	(479)	1,143	(1,337)	1,662	(1,816)
70代以上	273	(221)	247	(349)	520	(570)
不明	3,440	(3,610)	4,508	(4,197)	7,948	(7,807)
合計	8,694	(8,554)	12,562	(12,955)	21,256	(21,509)

※（　　）内は 2014 年度

日本語電話相談内容別受信件数

図 2

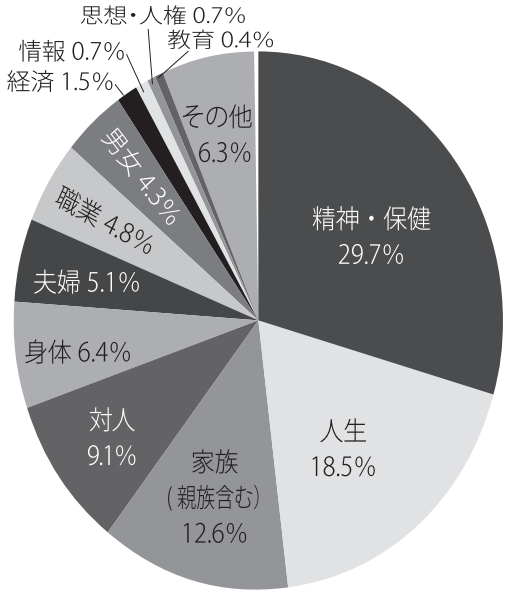


表 2

内容別	件数		割合
精神・保健	6,306	(6,012)	29.7%
人生	3,935	(3,866)	18.5%
家族（親族含む）	2,685	(2,744)	12.6%
対人	1,929	(1,815)	9.1%
身体	1,365	(1,608)	6.4%
夫婦	1,076	(1,103)	5.1%
職業	1,013	(1,134)	4.8%
男女	907	(1,093)	4.3%
経済	328	(337)	1.5%
情報	147	(148)	0.7%
思想・人権	145	(123)	0.7%
教育	86	(125)	0.4%
その他	1,334	(1,401)	6.3%
合計	21,256	(21,509)	100.0%

※（　　）内は 2014 年度

日本語電話相談　年代別受信件数自殺傾向率

図 3

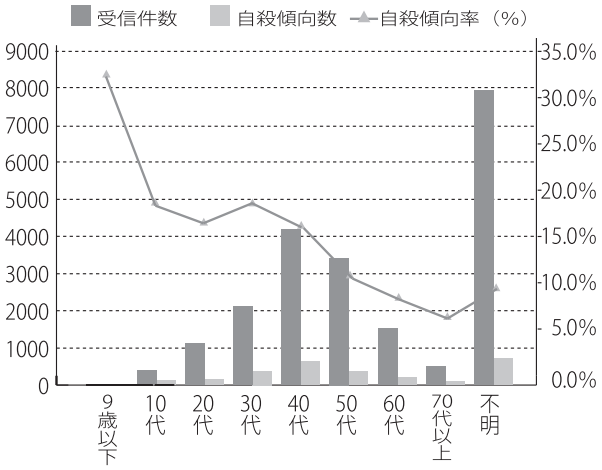


表 3

年代別	受信件数	自殺傾向数	自殺傾向数（%）
9 歳以下	9	3	33.3%
10 代	398	73	18.3%
20 代	1,061	176	16.6%
30 代	2,011	364	18.1%
40 代	4,224	665	15.7%
50 代	3,423	352	10.3%
60 代	1,662	136	8.2%
70 代以上	520	31	6.0%
不明	7,948	781	9.8%
合計	21,256	2,581	12.1%

日本語電話相談　過去5年間の自殺傾向率

図 4

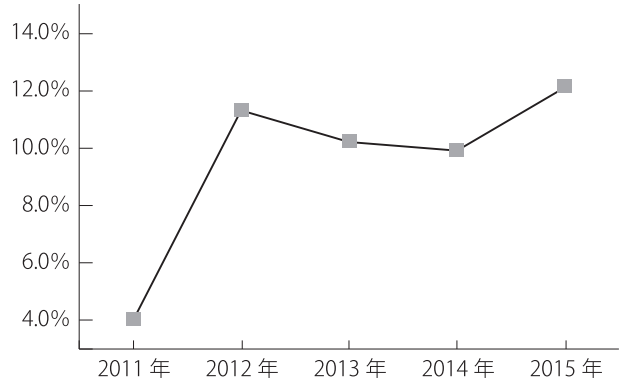


表 4

年度	受信件数	自殺傾向率（%）
2011 年	22,051	4.0%
2012 年	21,526	11.3%
2013 年	21,728	10.2%
2014 年	21,509	9.9%
2015 年	21,256	12.1%

日本語フリーダイヤル

図 5

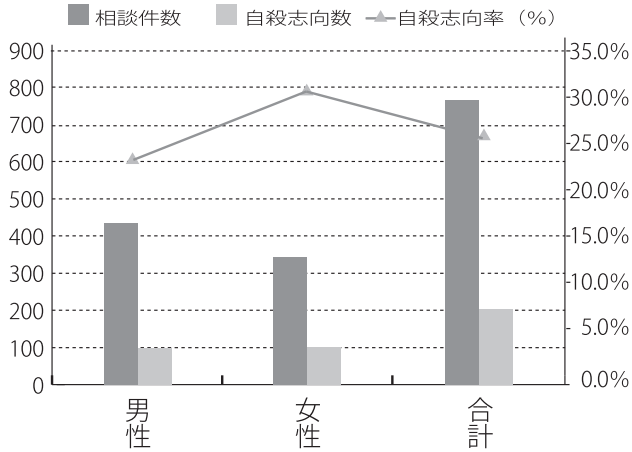
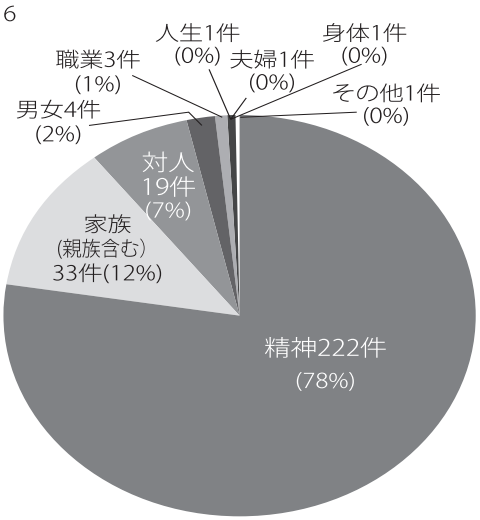


表 5

	男　性	女　性	合　計
相談件数	432	342	774
自殺志向数	101	103	204
自殺志向率（%）	23.4%	30.1%	26.4%
平均通話時間（分）	18.9 分	25.4 分	21.8 分

心理専門相談・内容別受信件数

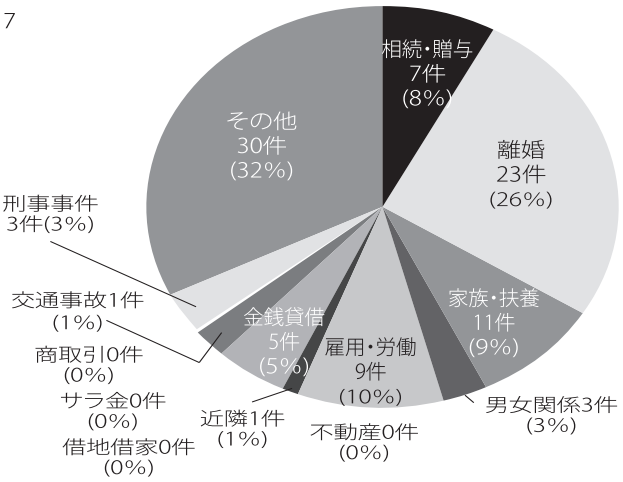
図 6



精神・保健（222件）の主な内容	
病気の苦痛等	33 件
不安感・否定感	30 件
人生・生き方	19 件
家族との問題	12 件
話がしたい	60 件

法律専門相談・内容別受信件数

図 7



外国語相談・内容別受信件数

図 8

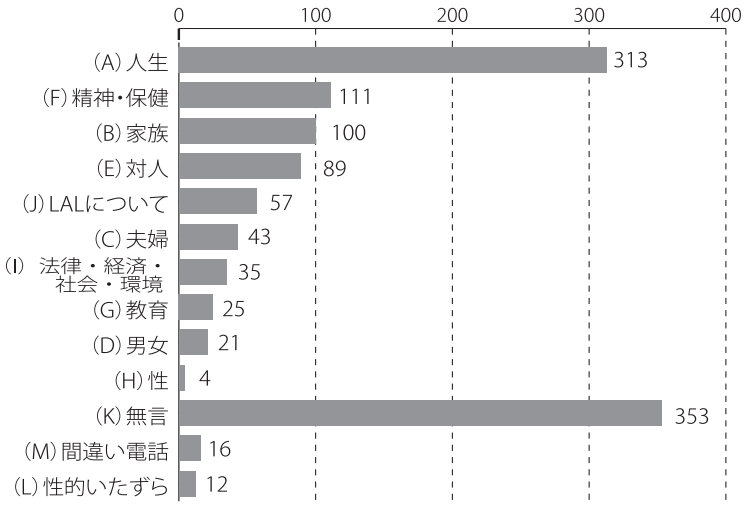


表 6

	スペイン語	ポルトガル語	合計
(A) 人生	51	262	313
(B) 家族	35	65	100
(C) 夫婦	15	28	43
(D) 男女	7	14	21
(E) 対人	26	63	89
(F) 精神・保健	40	71	111
(G) 教育	20	5	25
(H) 性	0	4	4
(I) 法律・経済・社会・環境	20	15	35
(J) LAL について	39	18	57
(K) 無言	58	295	353
(L) 性的いたずら	10	2	12
(M) 間違い電話	9	7	16
総　件　数	330	849	1,179